

お題干支にぴたりとはまる
犬の物語といえば…「ハチ公物語」

JR渋谷駅前の「忠犬ハチ公」の銅像は、現在でも渋谷のシンボルとして知られている。ハチ公は秋田犬で、1923年（大正12年）秋田県大館市生まれ。生後3ヵ月で渋谷に住む東大農学部上野英三郎教授にもらわれた。ハチ公は朝夕渋谷駅に教授を送迎するのを日課にしていたが、1925年（大正14年）5月に教授が脳溢血で死亡。ハチ公は親類に預けられた。しかし、ハチ公は教授の旧宅や渋谷駅に帰らぬ主人を待ち続けた。このエピソードから「いとしや老犬 主人を待って7年」と1932年（昭和7年）、朝日新聞に紹介されてから渋谷の名物となった。1934年（昭和9年）には日本犬保存会が銅像を建てて、盛大に除幕式が行われた。ハチ公は翌年生涯を終えたが、戦前の小学校の教科書に「忠犬ハチ公」として取り上げられ、歴史に残る名犬として今に語り継がれている。日本では1987年（昭和62年）に「ハチ公物語」として映画化された。また2009年（平成21年）には、ハリウッドで「HACHI 約束の犬」としてリメイクされ、リチャード・ギアが製作・主演して涙を誘った。



渋谷駅の忠犬ハチ公（2017年9月8日の撮影時点では、なぜか猫とのツーショット…?!）



お題

語

宮内庁が発表した平成30年（2018年）の歌会始のお題は「語」。歌に「語」の文字が詠みこまれていればよく、「語感」「物語」のような熟語や、「語る」「語らふ」といった訓読でもよいとしている。

- 【語】（出典「大辞林」）
- 1 〈かた・る〉〈ものい・う〉イ・話す。ロ・人に対して意見を戦わす。ハ・答えていう。ニ・説く。教える。ホ・ふしをつけて読む「語物（かたりもの）」。
 - 2 〈つ・げる（つ・ぐ）〉告げる。〈ことば〉〈かたり〉イ・話。ロ・物語。ハ・文句。ニ・ことわざ。ホ・声。「論語」の略称。
 - 3 〈さ・と・る〉Ⅱ悟。〈かたら・う〉イ・話しあう。ロ・相談する。ハ・約束する。ニ・誘い入れる。
 - 4 〈かたらい〉話しあい。

- 【語り】（出典「大辞林」）
- 1 特定の物語を型通りに語ること。
 - 2 能や狂言で、叙事的な内容を物語ること。また、その文句。能楽では節をつけず、多くワキが演じる。
 - 3 歌舞伎で、看板や外題の上に書く、粗筋を述べた七五調の文章。
 - 4 劇や放送などで、筋や話の進行を物語ること。ナレーション。
 - 5 話題。また話のたね。

「語」の付く言葉で
イメージする

語部（かたりべ）・縁語・温語・歌語・華語・雅語・歎語・漢語・寄語・季語・客語・敬語・語学・英語・言語・古語・語彙・語り種（かたりぐさ）・語り口・一語文・一転語・艶語り・歌語り・歌物語・絵物語・活用語・慣用語・間語り・印欧語族・因果物語・雨月物語・円卓物語・艶物語り・遠野物語・横川法語・音声言語・宇津保物語・騎士道物語・義太夫語り・一千一夜物語・一遍上人語録・宇治拾遺物語・源氏物語絵巻・言わず語らず、等々。

「語」の付く言葉を羅列したが、無難にイメージをお菓子に映すことができるのは、「物語」だろうか。

「○○物語」とすれば、いかようにもできる。たとえば「新年・花物語」とか。「語らい」で新年の家族団欒をイメージできるし、また「言わず語らず」を「不言実行」の意にとらえて、今年の目標をお菓子に託すのもおもしろい。

いずれにしても、簡単にイメージできるお題より、悩む分思ってもいいアイデアが出ることに期待したい。

特集



西田浩明氏



駒井敏広氏



石川久行氏



神田武治氏



つくださち子さん



引網康博氏

2018年度

瑞祥新春菓撰

上生菓子からおせち菓子まで

平成30年度のお題は「語（ご）」、干支は「戌戌（つちのえいぬ）」である。本特集では、お題菓、干支菓とともに

お正月の定番モチーフ

「松竹梅鶴亀」の作品と合わせて、趣向を凝らしたおせち菓子を紹介した。

関連記事はカラー 59ページ